

# いじめへの対応力を高める校内研修 記録様式

～記録者用資料～

## ＜記録様式＞

（方眼付模造紙を使用したときの転記位置の目安）※吹き出しは留意点

マス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	I. リスク										III. 対応										15	
2	<p>《検討項目》</p> <p>(1) 行為の反復性</p> <p>(2) アンバランスパワー（力関係の不均衡さ）</p> <p>(3) シンキングエラー （人権に影響を及ぼす間違った考えや認識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害的立場</li> <li>加害的立場</li> <li>傍観者</li> <li>教職員</li> </ul> <p>「リスク」で出た意見の中で、 「判断」に反映させるものには下線を引く 「被害感」→青、「行為」→赤 「客観性」→緑</p>										<p>《付箋の使い分け》</p> <p>（青）色：支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害者救済</li> <li>報告者保護</li> </ul> <p>（赤）色：指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加害・傍観へ指導</li> <li>全体指導</li> <li>影響の解消</li> <li>再発防止と予防</li> </ul>										14	
3											15											
4											14											
5											13											
6											12											
7	11																					
8	10																					
9	9																					
10	8																					
11	7																					
12	6																					
13	5																					
14	4																					
15	3																					
	2																					
	1																					
	マス	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

## ＜記録例＞

### I. リスク

(1) 行為の反復性 腹痛  
 ・荷物をBのバックに持つ※私にイッメン  
 ・「トロ子」  
 ・給食Bの皿多く→B苦笑い(いつも?)

(2) アンバランスパワー  
 ・仲間に入れてもらえて嬉しい(弟のこと(心配かけ))  
 ・人数の差 B < C・D・A  
 ・B: 勉強で頑張る(まともな役(バレー部))  
 ・AがBのグループ注意 男子と応援援大笑い  
 C: 「何、いい子ぶってるの」 E: 帰ってしまう

(3) シンキングエラー  
 「B顔がイマイチ、頭も良くない」 by C・D・E  
 Bの好物? 母: Bが変わってることに気づいて  
 Bはグループに馴染んでいない? 副担任多くの場面を見たのに

### II. 判断

① 被害感: 有or無  
 ② 行為: 有or無  
 ③ 客観性: 有or無

A  
S  
G

### III. 対応

緊急  
個人  
中期  
長期

支援  
指導

集団